

NHK ラジオ番組「<街頭録音> 青少年の不良化を 何うして防ぐか ガード下の娘たち」の文字化資料

尾崎 喜光[※]

Transcription of the NHK Radio Program “Recording in the Street:
How to Prevent Youth Delinquency: The Girls Under the Girdesr-Bridge”

Yoshimitsu OZAKI

1. 本資料について

本資料は、戦後間もない一時期に NHK ラジオが放送した、一般国民を取材対象とする街頭インタビュー番組<街頭録音>のうち、1947年(昭和22年)4月22日放送の「青少年の不良化を何うして防ぐか ガード下の娘たち」(17分)と、この番組が放送された43年後に当番組を振り返った1990年6月7日放送のNHKラジオの対談番組「<ことばの歳時記> アナウンサーが伝えた“あの日、あの時” 街頭録音、ガード下の娘たち 藤倉修一」(11分)の文字化資料である。

筆者が研究代表をつとめ現在進めている科学研究費補助金による共同研究では、共通語(標準語)の基盤となっている東京の話し言葉の動態について、多人数経年調査を研究の中核と位置づけて実施するとともに、それに関連する複数の調査もあわせて実施し、多角的に把握することをめざしている。^{註1}

そうした関連調査の一つとして、公益財団法人放送番組センターが運営する「放送ライブラリー」(横浜市)が保存・公開している過去に放送されたテレビ番組・ラジオ番組(アーカイブ)のうち、国民の話し言葉が比較的自然な発話として現れることが期待されるドキュメンタリー番組を中心に視聴し、本研究が注目する一つである女性語の使用がどのような変化を経て現在に至っているのかを明らかにすることを目的とする調査研究を筆者が行っている。

このアーカイブ調査の初期の頃に調査対象とした番組に、NHKラジオが1947年4月22日に放送した「<街頭録音> 青少年の不良化を何うして防ぐか ガード下の娘たち」がある。

男性アナウンサーの藤倉修一氏(当時33歳)が有楽町(隠語で「ラクチョウ」)の省線(当時の運輸省が管理した鉄道線;現在のJR)のガード下(高架下)にある“闇の女”(進駐軍の兵士を相手とした街娼;パンパン)たちがいるところに正体を明かさずに出かけ、レ

キーワード: ラジオ番組, 街頭録音, ラクチョウのお時, アーカイブ, 女性語

Keywords: Recording in the Street, *Otoki* in Yurakucho, Women's expressions

※ 本学文学部日本語日本文学科

インコートの袖口にしのばせたマイクにより藤倉氏と女性たちとの会話を隠し録りしたものをそのまま放送した番組である。「青少年の不良化を何うして防ぐか」をテーマとする番組の一つであることからすると、まずは実態の一端を捉えて広く知らしめることが放送の目的であったと考えられる。実際に放送は大きな反響を呼んだという。

ときおり頭上を走る電車の音で録音が十分に聞き取れない部分もあるものの、全体としては何を言っているかがおおよそ聞き取れる。

藤倉氏と会話する若い女性たちの言葉の中には、本研究が注目する女性語（特に文末表現）の使用も見られる。特に番組途中から登場する戦災孤児の「ラクチョウのお時」（Wikipediaによると本名は「西田時子」であるらしい）と呼ばれる19歳のリーダー格（親分）の女性の発話量は一定程度あり、現在から70年以上前の東京の若い女性の話し言葉の一端を知ることができる。

この「ラクチョウのお時」を中心とする発話は、当時の女性語の使用に関する分析のみならず、広く当時の話し言葉の研究や、戦後の貧困下における若い女性たちの思いや行動の一端を知るための社会的資料としても活用できると考え、会話全体を忠実に文字化することとした。これが本稿の【資料1】である。

また、この番組の振り返り番組である「<ことばの歳時記> アナウンサーが伝えた“あの日、あの時” 街頭録音、ガード下の娘たち 藤倉修一」も、【資料1】を分析する上で有益であると考え、あわせて全体を文字化して【資料2】として掲載することとした。

なお、「ラクチョウのお時」については狩野啓子（2002）の紹介がある。それによると、ラクチョウのお時は藤倉氏に向かい、自分たちは生活のために仕方なくこの商売をしていること、配下の娘たちが苦勞してカタギになって職を見つけても世間の目が冷たいため再びガード下に戻ってくることを涙声で叫んでいるとしているが、本放送を聞く限りそのような内容は語られておらず、戦災孤児というよりも中流以上の家庭の娘たちが親との不和からガード下に来るケースが多いこと、ここを出て堅気の仕事をしても周囲の人は過去の生活を見るためすぐに戻って来てしまうということが語られている。つまり、発言内容の中心は<社会問題>というよりもむしろ当時の<家庭問題>である。その口調も叫ぶようなものではなく、どちらかという淡々としたものである。また狩野啓子（2002）は、ラクチョウのお時の言葉を「」で紹介しているが、本文字化資料によれば該当する発話は認められない。ただし1990年放送の【資料2】には、藤倉氏自身による関連する発言（通番16）があることからすると（ただしこの部分は放送されなかったことが考えられる）、この放送を聞いてのことであるのかもしれない。「放送ライブラリー」では番組本編の一部カット等の編集は加えておらず、放送事業者から提供された素材をそのまま公開している。関連する資料を参照すると上記のような不可解な点もあるが、本論ではその理由を追求することはせず、筆者が聞き取ったまゝを提示する。

2. 【資料1】の構成と文字化について

本稿で示す【資料1】は次の5つの部分から構成されている。末尾の「通番」とは、資料に付した通し番号のことである。

- (1) 取材者である藤倉修一アナによる、インタビューを開始するにあたっての、番組聴取者に向けての現場からの説明。[通番1]

- (2) ラクチョウのお時の配下の女性と藤倉アナとの会話。冒頭には靴みがきの少年等との会話も入る。[通番 2～142]
- (3) ラクチョウのお時と藤倉アナとの会話。[通番 143～289]
- (4) ラクチョウのお時の上の立場の女性と藤倉アナとの会話。[通番 290～326]
- (5) 藤倉修一アナによる、インタビューを終了するにあたっての、番組聴取者に向けての現場からの説明。[通番 327～329]

文字化資料は「通番」「発話者」「相手」「発話」「開始時間」の5項目から構成されている。「通番」とは資料中での通し番号である。「発話者」「相手」には年齢(層)と性別の情報を付した。「開始時刻」は、番組開始後のその発話の開始時刻である。確認等で本番組を聞く際の便宜のために付した。

「発話」中の「φ」は、文末の男女差という観点から見たとき、該当する表現が含まれていないことを表している。一つは断定の助動詞「だ」の省略である。たとえば「大丈夫だよ。」に対する「大丈夫φよ。」のような表現である。もう一つは、終助詞「わ」の不使用である。たとえば「そうでもないわよ。」に対する「そうでもないφよ。」のような表現である。

なお、日本の放送ドキュメンタリーの源流を考察した宮田章(2016)は、当番組をNHKドキュメンタリーの「はじめの一步」と位置づけ、番組構成の観点から詳細な分析を行なっているが、必要に応じて示されている文字化資料はおおむね本資料と一致している。本資料では全体像を示したことになる。

3. 【資料1】の予備的分析

本稿の目的は、該当番組の全発話の文字化資料を示すことにあるが、このアーカイブ調査の目的は、文末における女性語(女性的表現)を各時代の女性たちがどの程度用いていたかについてその一端を明らかにし、現代に至るまでの変化・動態を把握することにある。本資料はそれを分析するための一部であり、さまざまな番組を含む資料全体の分析は別稿にゆずるが、それに先立つ予備的分析として、本資料から見えてくる戦後間もない頃の若い女性たちの女性語の使用について若干の分析を行なう。

文末における女性語(女性的表現)は、表層的にはさまざまなものがあるが、尾崎喜光(2005・2017)等で指摘したように、「かしら」等の別系列のものを除けば、次の2つの特徴に集約される。

- ①終助詞「わ」の付加(例:「(雨が)降るよ」→「(雨が)降るわよ」;ただし「行くわ。↓」のような「わ」で文が終わりかつ下がるイントネーションの場合は除外)
- ②助動詞「だ」の省略(例:「雨だよ」→「雨よ」、「静かだよ」→「静かよ」、「いいん(=の)だよ」→「いいのよ」)

そこで、これらの表現が女性たちの発話にどう表れているかについて、これらと対立する非女性的表現の使用と対比しつつ見ていく。あわせて「かしら」についても、これと対立する「かな」と対比しつつ(たとえば「そうかしら?」に対する「そうかな?」)、その使用を見ていく。なお、終助詞「わ」は非敬体での使用が一般的であることから、丁寧語「です」「ます」への「わ」の接続/非接続は分析の対象外とする。また、男性である藤倉修一アナの発話は、当然ながら分析対象としない。たとえば「行かない方(ほう)だねえ。」

という「だ」が省略されない発話があるが、これは分析対象としない。

3.1. 女性による終助詞「わ」の使用（付加）／不使用（非付加）に関する分析

終助詞「わ」の使用は本資料において14件観察された。前後の文脈を短縮して出現順に示すと次のとおりである（発話直後の〔〕内は発話者と通し番号）。なお、本稿では「使用」についてのみ注目するのではなく、「不使用」との対立という観点から分析するため、「それはわかんないわ。」のような対立が捉えにくい「わ」で終わる文は分析対象から除外し、直後に終助詞「よ」ないしは「ね」が付加する文に限定して対象とする。

- ・おいしいわねえ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；130]
- ・映画行ったりなんかしてるわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；171]
- ・そうでもないわねえ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；179]
- ・多いわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；184]
- ・少ないわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；187]
- ・いいわよ、いいわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；192]
- ・来てたわよ、[ラクチョウのお時（19歳・女性）；193]
- ・来てないわよ。[夜の商売をしている別の女性（10代・女性）；199]
- ・勤めさせたりなんかしたわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；216]
- ・泊まってるらしいわね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；238]
- ・なんにもないわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；251]
- ・慕ってくれるわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；256]
- ・病院へ送られるわね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；273]
- ・ほとんどわかるわよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；287]

一方、終助詞「わ」を用いる文脈においてそれを用いなかったケースは次の6件観察された。「わ」が含まれていないことを「 ϕ 」で示す。

- ・出てん（＝「る」） ϕ ね。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；35]
- ・わかんない ϕ ね。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；56]
- ・数えきれない ϕ ね。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；57]
- ・よく口きく ϕ ねえ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；83]
- ・そうでもない ϕ よ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；109]
- ・15、6回行ってる人いる ϕ よ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；110]

以上の結果から、終助詞「わ」を用いて発話するケースは、当時の10代（後半）の若い女性の間で少なくなかったことが垣間見られる。特にラクチョウのお時は全ケースで用いている。ただしこれは、女性性を強調する商売がらから来る言葉の特徴であるのかもしれない。また、ラクチョウのお時の配下の女性はむしろ「わ」を用いないケースの方が多いことからすると人による異なりも少なくない可能性が考えられる。同時代の他の番組でのデータも分析し、今後予定する総合的な分析においては慎重に検討する必要がある。

なお、丁寧語「ます」に終助詞「わ」が付加する表現も1件ながら観察された。参考として示しておく。

- ・1回行きましたわ。[夜の商売をしている先輩女性（10代・女性）；121]

3.2. 女性による助動詞「だ」の省略／非省略に関する分析

助動詞「だ」の省略は13件観察された。同様に示すと次のとおりである。ここでの「φ」は「だ」が含まれていないことを示す。

- ・新聞社の人φよ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；146]
- ・なんなのφよ？ [ラクチョウのお時（19歳・女性）；152]
- ・そうゆうあれじゃないのφよお。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；163]
- ・150人ぐらいφね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；168]
- ・ないんじゃないのφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；211]
- ・また（ここに）帰ってくん（＝る）のφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；225]
- ・ほとんどそうφね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；234]
- ・帰らないのφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；236]
- ・あたしの姉さんなのφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；263]
- ・間なのφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；266]
- ・不良少女φね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；267]
- ・戻ってくん（＝る）のφよ。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；277]
- ・おんなじことなのφよー。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；279]

一方、助動詞「だ」を省略しないケースは次の4件観察された。

- ・最近だよ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；42]
- ・にぶい男だねえ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；79]
- ・みんな親類なんだよ。[夜の商売をしている女性（10代・女性）；84]
- ・親類だよねえ、[夜の商売をしている女性（10代・女性）；85]

以上の結果から、助動詞「だ」を省略して発話するケースも、当時の10代（後半）の若い女性の間で少なくなかったことが垣間見られる。特にラクチョウのお時は全ケースで省略している。

3.3. 女性による終助詞「かしら」／「かな」に関する分析

最後に、終助詞「かしら」の使用について、これと対立する「かな」との対立という観点から分析する。

終助詞「かしら」の使用は9件観察された。同様に示すと次のとおりである。

- ・少ないんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；185]
- ・来てなかったかしら？ [ラクチョウのお時（19歳・女性）；198]
- ・なんて（いう）のかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；210]
- ・続かないんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；214]
- ・ひがんじゃうんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；221]
- ・終わるんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；229]
- ・のぼるんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；232]
- ・多いんじゃないのかしらね。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；249]
- ・いるんじゃないのかしら。[ラクチョウのお時（19歳・女性）；258]

一方、「かな」の使用は次の1件観察された。

・タバコ持ってないかなあ？〔夜の商売をしている女性（10代・女性）；2〕

以上の結果から、終助詞「かしら」の使用についても、当時の10代（後半）の若い女性の間で少なくなかったことが垣間見られる。特にラクチョウのお時は全ケースで「かしら」を用いている。その文脈も「～じゃないのかしら」が大半を占める。

本資料で発話量の多いラクチョウのお時は、これら3つの特徴についてことごとく女性的表現を用いていることも明らかになった。これは、先に述べたように、女性性を強調する商売がらから来る特徴であるのかもしれない。今後の総合的な分析においては、同時代の他の女性の発話も観察し、慎重な分析結果を示したい。

4. 【資料1】【資料2】の表記について

- ・文字化は、言い誤りや言いさし等も含め、できるだけ忠実に行った。
- ・文末の「↑」は上昇イントネーションで、「↓」は下降イントネーションで発音されたことを示す。
- ・雑音が大きかったり音質が悪いため十分に聞き取れない箇所は「*」を適当数入れることで示した。個人情報保護を考慮して固有名詞を「*」に置き換えた箇所はない。
- ・本稿で分析対象とした終助詞「わ」や助動詞「だ」等は、該当箇所が分かりやすいよう、太字にしてかつ下線を付して示した。
>
- ・（ ）内は筆者の注記である。語の読みや文や語の意味の理解を助けるために適宜加えた。
- ・【 】内は番組に関する筆者の注記である。

注

- 1 JSPS 科研費 JP18H00673（研究課題「共通語の基盤としての東京語の動態に関する多人数経年調査」；研究代表者・尾崎喜光）。

参考文献

- 尾崎喜光（2005）「ケース1 女ことば・男ことば」上野智子他編『ケーススタディ 日本語のパラエティ』（おうふう）
- （2017）「岡山市における話し言葉の男女差」『ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学編』41-1
- 狩野啓子（2002）「ラディカルな売春婦論—石川淳「夜のイヴ」岡野幸恵他編『売買春と日本文学』（東京堂出版）
- 松谷みよ子（1987）『現代民話考8 ラジオ・テレビ局の笑いと怪談』（立風書房） * 「第一章 ラジオ・テレビ局の笑い」の「十四、番組裏ばなし」の中の「八 街頭録音」
- 宮田章（2016）「録音構成」の発生—NHKドキュメンタリーの源流として—『NHK放送文化研究所年報2016』60

【資料1】

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
1	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラジオ聴取者	わたしは今、省線(=鉄道省[現・運輸省]の鉄道線)、有楽町北口のガード下、墨をとかしたような、闇の中に、雨に打たれて、ただ一人、じーっと立っております。時間は、すでに、8時過ぎ。電灯の点(つ)かない、このガード下、トンネルのような、感じでありまして、わずかに、向こう側の、ビルの灯(ひ)が、黒々と、わたしの影を、落としております。街頭録音班、初の夜間録音は、華やかな、街の灯(ひ)を避けて、大東京の裏通り、闇に咲く花の、生態を、ひそかに録音するために、わたしは、小型マイクを、オーバーの、内側に忍ばせまして、先ほどから、ここに、人を待っているわけでありまして、このガード下の暗闇に、妖(あや)しい花を咲かせる、街の天使たち、厚化粧に、けばけばしい、洋服の娘たちが、青闇の、せまる頃から、どこからとなく、二人三人と現れて、通りがかりの、酔客(すいきゃく)を伴っては、また、闇の中に、消えていきます。今も、ここに、二人、三人、四人、五人、厚化粧の、天使たちが、ガードの、下を、行ったり来たりいたしております。	00:43
2	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	タバコ持ってないかなあ？ 誰か。	02:10
3	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	タバコ？ タバコー、持ってないかなあ？ ぼく今***なあ。なんでいいの？ そのままでいいの？	02:11
4	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	頭痛い。	02:17
5	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	何？ お酒飲んだの？	02:18
6	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うーん、お酒にカストレ(=カストリ? ; 密造焼酎)。	02:20
7	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ええ？	02:22
8	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	*** (=「お姉さん」?) お友達いる？	02:24
9	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ないの？	02:25
10	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ないの？	02:26
11	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	こつ、これ、これおごつてよ。	02:29
12	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	これえ？	02:31
13	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	どれも*****。	02:32
14	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ほんど？	02:32
15	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ええ？	02:33
16	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	***。それ一つでえ？ ビーナッツ1つ？	02:35
17	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うん。	02:38
18	藤倉修一アナ(33歳・男性)	売店員(?歳代・女性)	お* * さん(=「おかあさん」?)、これいくら？	02:38
19	売店員(?歳代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	* * 10円です。	02:39
20	藤倉修一アナ(33歳・男性)	売店員(?歳代・女性)	10円？	02:40
21	藤倉修一アナ(33歳・男性)	売店員(?歳代・女性)	はい(10円)。	02:42
22	靴みがきの少年(10歳前後?・男性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	おう。(こう聞こえる)	02:45
23	藤倉修一アナ(33歳・男性)	靴みがきの少年(10歳前後?・男性)	なに、あ*****？	02:46
24	靴みがきの少年(10歳前後?・男性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	靴みがいて*****。	02:48
25	藤倉修一アナ(33歳・男性)	靴みがきの少年(10歳前後?・男性)	ああそうかね。靴みがいてるの？	02:49
26	藤倉修一アナ(33歳・男性)	? (年齢層・性別不詳)	あんたは何してん(=る)の？	02:51

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
27	? (年齢層・性別不詳)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	* * * やろうよ。	02:53
28	藤倉修一アナ (33歳・男性)	? (年齢層・性別不詳)	少し * * * («お取りなさい」?) あんたも。↓	02:55
29	? (年齢層・性別不詳)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	今度来たときには、* * * * * やってよ。	02:57
30	藤倉修一アナ (33歳・男性)	靴みがきの少年 (10歳前後?・男性)	* * * かい? また雨降ってつからねえ、きょうはー。	03:00
31	靴みがきの少年 (10歳前後?・男性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	いいよ。	03:03
32	藤倉修一アナ (33歳・男性)	靴みがきの少年 (10歳前後?・男性)	(雨で靴が) またすぐよこれちゃうから今度はみがくよ。	03:03
33	藤倉修一アナ (33歳・男性)	靴みがきの少年 (10歳前後?・男性)	ボク(=二人称)(私のことを)覚えてて。	03:06
34	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	いつも(この辺に) 出てる(=「る」)のかい?	03:09
35	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	この子はいつも(この辺に) 出てる(=「る」)ね。	03:13
36	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	あんたもいつも(この辺に) 出てる(=「る」)のかい?	03:15
37	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	* * ? (聞き返し)	03:17
38	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	あんたはいつも(この辺に) 出てる(=「る」)の?	03:18
39	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	いつから(この辺に) 出てる(=「る」)の?	03:21
40	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	うん? (聞き返し)	03:22
41	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	いつから(この辺に) 出てる(=「る」)の?	03:23
42	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(有楽町駅北口ガード下に出て働いているのは) 最近だよ。↓	03:24
43	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	昔の友達いるからね。(ここで働いている)	03:25
44	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	昔の友達がいる? ふーん。	03:26
45	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	(昔の友達はここに) たくさんいるの?	03:29
46	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	うん? (聞き返し)	03:30
47	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	(昔の友達はここに) たくさんいるの?	03:31
48	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(昔の友達は) 一人。	03:31
49	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	一人?	03:32
50	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	あたしと姉さん。	03:32
51	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	ふーん。	03:33
52	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	有楽町 * な。	03:34
53	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	有楽町の(姉さん)?	03:35
54	藤倉修一アナ (33歳・男性)	夜の商売をしている女性 (10代・女性)	やっぱりあの一親分さんがいん(=「る」)の? 姉さんがいん(=「る」)の? ふーん。	03:36

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
55	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	毎日ねえ、何人ぐらい、来る？ この、近所に、お友達が。	03:41
56	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(ここに来る友達の数)はわかんないぢね。↓	03:48
57	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(ここに来る友達の数)は数えきれないぢね。↓	03:49
58	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	数えきれないほど来る？	03:50
59	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	でもきょうは雨降ったから。	03:52
60	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	雨降ったからねえ。	03:54
61	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	酔っぱらってるの？	03:56
62	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	酔っぱらってるわけねえ。うん？	03:57
63	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	今までどうしたの(「てたの」か)？	04:00
64	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うん？(聞き返し)	04:01
65	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	おうちではどうしてるの？	04:02
66	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	おうちはどこなの？	04:03
67	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うち？(聞き返し)	04:04
68	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	うん。	04:04
69	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	北埼玉。	04:05
70	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	北埼玉？	04:06
71	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	北埼玉から毎日出て来(く)んの？	04:06
72	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うん。	04:08
73	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ええ？	04:08
74	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うん。	04:08
75	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	毎日出て来(く)んの？	04:09
76	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そう。	04:09
77	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	今時分から？	04:10
78	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	なあ* *。(「なあくる」のように聞こえる)	04:11
			【無音】	04:13
79	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	にぶい(しぶい)？男だねえ。	04:25
80	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ありがとう。	04:26
81	夜の商売をしている女性(10代・女性)	他の女性？	風体(ふうたい)よくないけどこっちの人。	04:27

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
82	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ああ! * * * *。	04:28
83	夜の商売をしている女性(10代・女性)[別の女性?]	夜の商売をしている女性(10代・女性)	あんた、知らない人とよく口きくねえ。感心しちゃうわ!、* * *。	04:30
84	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いや有楽町*一応顔合わせりやみんな親類なんだよ。	04:33
85	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	親類だよねえ、おじさん(=相手)。	04:36
86	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	親類だ*。いつから親類になったか知らないけどね。	04:38
87	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	あのねえ。	04:42
88	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	うん。	04:43
89	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	有楽町、お友達何人ぐらいいるの?	04:43
90	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ずいぶんいますよ。	04:45
91	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あつ、新聞社なの?	04:46
92	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	うん。	04:47
93	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	だめだ新聞社って嫌いだ、おれは。	04:47
94	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	嫌いかい?	04:49
95	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	嫌われちゃって困ったなあ。	04:50
96	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そうだい。新聞社のやろうはすぐそうゆうことをしたがる。	04:51
97	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	そうかい?	04:53
98	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	んー、じゃあねえ、そんなやぼなことを聞かないけどねえ。	04:54
99	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	はい。	04:56
100	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	んー、察(=「警察」)へ何回ぐらい挙げられた?	04:57
101	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	そんなことないかい?	05:00
102	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そんなこといちいち聞かなく* * * *。落とし前取るぞお。(笑い)	05:01
103	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そうでもねえか。	05:05
104	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あたくしは7回(ななかい)挙がりました。	05:06
105	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	7回(ななかい)ですか?	05:07
106	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。常習犯。	05:08
107	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	常習犯。	05:10
108	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いや、そうでもない。	05:10
109	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いや、そ、(私が警察に補導された回数)はそうでもないねえ。	05:12

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
110	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(補導されて警察に)15、6回行ってる人いるよ。	05:15
111	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	そうお？	05:15
112	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あ* * (「あたし」?)なんか行かない方(ほう)。	05:15
113	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	行かない方(ほう)だねえ、7回(ななかい)ならね。	05:16
114	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	* * * 7回(ななかい)行って2回だけ病気。	05:19
115	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あと、あーっ！	05:20
116	夜の商売をしている女性(10代・女性)	?	あのじい。	05:26
117	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	なにこのじい* *。	05:28
118	夜の商売をしている女性(10代・女性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	このじい聞いたの。	05:28
119	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(この子に)何を聞いたんですか？	05:30
120	夜の商売をしている女性(10代・女性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	警察に何回行ったかって。	05:31
121	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	警察う？ (丸の内で補導されて警察に)1回行きましたわ。↑	05:33
122	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	1回だけ？	05:34
123	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	丸の内で。	05:34
124	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	丸の内です？	05:35
125	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)？	藤倉修一アナ(33歳・男性)	どうしてえ？	05:36
126	夜の商売をしている女性(10代・女性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)？	あんた1回つきり？	05:36
127	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)？	だって1回しか行かないもん。	05:38
128	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)？	あと* * 勤めてて行かなかったもん。	05:39
129	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(10代・女性)	タバコまい(=うまい)？	05:42
130	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(タバコは)おいしいわねえ。↓	05:43
131	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	おいしい？	05:44
132	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	いつごろから(タバコを)吸ってるの？	05:45
133	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	17(じゅうしち)ふ(=「の」)ときから。	05:46
134	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	今いくつ？ ええ？	05:47
135	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	中学校時代から吸ってる* * * (=「タバコ」?)。	05:49
136	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	中学校時代から？	05:50
137	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	どこの中学校*。	05:51

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
138	夜の商売をしている女性(10代・女性)	別の女性	* * * * こんばんは。	05:52
139	別の女性	夜の商売をしている女性(10代・女性)	こんばん*。	05:53
140	藤倉修一アナ(33歳・男性)	?	ごめんなさい。↑	05:55
141	藤倉修一アナ(33歳・男性)	?	お、お姉さま* * * *。	05:57
142	藤倉修一アナ(33歳・男性)	?	こんばんは。	05:59
143	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	何やってるの、あんたー。	06:00
144	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	何(なん)なのこの人。	06:00
145	藤倉修一アナ(33歳・男性)?	ラクチョウのお時(19歳・女性)	ええ?	06:02
146	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	(今話をしている相手の人は)新聞社の人 <u>お</u> よ。↓ (実際にはNHK)	06:03
147	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	あ、そう。	06:04
148	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ごめんなさい* * *。	06:05
149	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)?	* * * * *。	06:06
150	夜の商売をしている女性(10代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	* * サワキみたい* * *。	06:09
151	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ほんと* サワキみたいだね。	06:10
152	ラクチョウのお時(19歳・女性)	?	なんなの <u>お</u> よ?	06:11
153	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	最初は*、警察何回挙がったかって。	06:12
154	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ええ?	06:14
155	夜の商売をしている女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	警察に何回挙がったかって。	06:15
156	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている女性(10代・女性)	(警察と?)グルだ*。	06:16
157	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あんた何(なに)ひも(=小型マイクのコード)ぶらさげてんのお?	06:17
158	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	いや、これ電話機のこ* * *。	06:19
159	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	それでゆわえてくんじゃないでしょうねえ。	06:19
160	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	ゆわえてきやしない、大丈夫よ。	06:21
161	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	ラジオ聞かせてよ。忙しい?	06:22
162	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	* * さん(「お姉さん」?)のねえ、配下に何人ぐらいらっしやるの?	06:25
163	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	配下に* * あたしたちそうゆうあれ(=自分の配下に若い女性を持つ)じゃないの <u>お</u> よお。↓	06:28
164	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	そうじゃないの?	06:30
165	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	だって、たくさん* * 「お姉さん、お姉さん」って騒いでるじゃない* * *。	06:31

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
166	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	* * そんなこと。	06:36
167	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	いつもこの所へ何人ぐらい、来るの？	06:38
168	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	150人ぐらい <u>お</u> ね。	06:41
169	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	150人ぐらいはいらっしゃるの？	06:42
170	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	(ここに来る女性たちは)昼間何してんの？	06:44
171	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	昼間？ 別に何(なに)してるってー、みんな(＝配下の若い女性たち)映画行ったりなんかしてる <u>わ</u> よ。↑	06:46
172	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	どのくらい稼ぐの、一人で。	06:51
173	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	さあ、それは(＝若い女性たちがどれくらい稼ぐかは)わかんないわ↑、わたしにも。	06:53
174	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	あたし遊んでないんですもの。	06:55
175	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	あなたはそうでしょうけどね。ほかの人たち*。	06:57
176	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	まして、だいたい* * そういうこと聞く権利もないしさあ、また(聞く)必要もないでしょう。	06:59
177	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	だから(＝配下の女性に聞く必要がないから)別に(配下の女性たちがどれくらい稼ぐかは)聞かない。	07:02
178	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	あの一、(ここで働いている女性には)震災児が多いの？ そうでもないの？	07:08
179	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	そう(＝ここで働く女性は震災児が多い)でもない <u>わ</u> ねえ。	07:10
180	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(ここで働く若い女性たちは)中流家庭以上の子が大部分占めてるような気がする。	07:11
181	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	そうお？！	07:15
182	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	うん。	07:15
183	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	中流家庭以上の人が多いの？	07:16
184	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(中流家庭)い、以上の人が多い <u>わ</u> よ。↑	07:17
185	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	ほんとに生活に困ってるって一、人は少ないんじゃないの <u>かしら</u> 。	07:19
186	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	ほんとに生活に困ってやってる人は少ないの？	07:23
187	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(ほんとに生活に困ってやっている人は)少ない <u>わ</u> よ。↓	07:25
188	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	あたしの見たところではね。	07:26
189	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	そりゃー、よその人には何てゆうか知らないけど、な* * あたしたち、現にそうゆう女の子の一人、同じにさあ、まあ寝起きこそしないけれどもさあ、毎日毎日顔みあ* *。	07:27
190	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	ごめんさーい。↑ あんた、ひっぱられちゃってさあ、乗せられてちゃったからつい行っちゃった。	07:35
191	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	どこ* * 引っ張られたの？	07:38
192	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	いい <u>わ</u> よ、いい <u>わ</u> よ。(男性にひっぱられて戻るのが遅くなったことに対し)	07:39
193	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	おまえの子来てた <u>わ</u> よ、きょう。	07:40

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
194	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	ええっ?!	07:41
195	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	* * 今そこにいる(=「いる」)じゃない?!	07:42
196	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	* * * * * あその部分。	07:44
197	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	だ * * *, もう一人の子。	07:45
198	ラクチョウのお時(19歳・女性)	夜の商売をしている別の先輩女性(10代・女性)	あ、(あの子はきょうここに)来てなかったかしら?	07:46
199	夜の商売をしている別の女性(10代・女性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	来てないわよ。	07:47
200	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	あのねええ。↑	07:48
201	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。	07:49
202	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	えー、まじめに働いてる給仕さんとかねえ。	07:50
203	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。	07:52
204	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	女(おんな)事務員さんとかーに対してねえ。	07:52
205	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。	07:53
206	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	あんたがたどうゆうふうな気持ち持つてる?	07:54
207	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	まあ、あんたといわずねえ。	07:56
208	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。	07:57
209	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	あんたのー、あの一、下の、「姉さん、姉さん」って立ってる若い人たちね、やっぱり遊ぶのが面白い、ってゆうのが多い? 今言(い)ったように中流家庭 * *。	07:58
210	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あ、なんて(いう)のかしら。	08:04
211	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	でも更生するってゆう気持ちがないんじゃないのよ。↑	08:05
212	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(更生する気持ちは)あるんだけどねえ。	08:07
213	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	あるう? ↑	08:07
214	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	結局みんな(更生する気持ちが)続かないんじゃないのかしら。↓	08:08
215	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	どうしてだろう?	08:11
216	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ねえ、あたしなんかねえ、ずいぶんねえ、この女の子たちをねえ、堅気(かたぎ)にしようと思って4、5人はマーケット * 動めさせたりなんかしたわよ。↑	08:12
217	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	うん。	08:18
218	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	* * 結局周囲の目がね、そうゆうふうに見ないでしょう?	08:18
219	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	今までの生活つものねえ、やっぱりさあ、* * * * *。(発話後半は電車の音で聞こえず)	08:21
220	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	巻き返してもね、そうゆー、何とか * 今まで遊んでたってことをさあ、頭に置いているから使い方が違うでしょ?	08:34
221	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	結局女の子たちにしてもやっぱり、今までそうゆうふう(ふう)に遊んでたって気持ちがさあ頭にあるからさあ、どうしても、こうひが(ひが)んじやうんじやないのかしら。↓	08:40

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
222	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	世間があ、やっぱり冷たい目で見るとゆうの？	08:48
223	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	それもまあ、逆も。	08:51
224	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	だからいつまでも***から抜けられないって**。	08:51
225	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ううん、もど、まあさあ、(ここで働いている若い女の子たちが)まじめ <small>ム</small> (=に)なったとこで逆戻りしてね、また(ここに)帰って <small>ム</small> (=る)の <small>ム</small> よ。↓ 結局。	08:53
226	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	で、稼いだお金ってゆうのはいったい、どんなことに使ってるの？	08:58
227	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	まあ、へえ(?)。	09:02
228	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	やっぱりファ***とか***。	09:02
229	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いえー、まあ、(稼いだお金は)いわゆる食べる***終わるんじゃないの <small>カシラ</small> 。↓	09:04
230	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	***。	09:07
231	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	い***がないと今はやっぱり、お食事だって高いもんね。	09:07
232	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	一日(いちんち)のお給料ちつたらあの子たち相当に、相当な嵩(かさ)にのぼるんじゃないの <small>カシラ</small> 。↓	09:11
233	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	いわゆる、うちからはもう飛び出しちゃってるの？	09:16
234	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ほとんど(の子は)そう <small>ム</small> ね。↑ (=家を飛び出している)	09:19
235	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	帰らないの？	09:21
236	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(ほとんどの子は)うちへ帰らないの <small>ム</small> よ。↓	09:21
237	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	で、泊まるとこなんかどうしてるの？	09:23
238	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(うちに帰らない子は)まあ宿屋一、宿屋へなんかへ泊まってるらしい <small>ム</small> ね。↑	09:24
239	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	そうですねー。	09:29
240	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	まじめ <small>ム</small> なる気はもうほとんどー、あってもー、周囲が一だめだからってわけだねえ。	09:32
241	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(周囲が)そうさせない***。	09:35
242	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	で、将来に対する希望なんか持てないのかねえ？	09:37
243	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そりゃー人間ですもん(将来への希望)がないってことはないでしょう？	09:40
244	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	だけど今はその一、享楽に夢中になっているってゆうわけ？	09:42
245	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	今は全然若い子たちは(将来の希望は)ないですか？	09:47
246	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	(若い女性たちが将来の夢を持っているかどうかは)わからない <small>ム</small> わ。↑	09:49
247	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	それはわからない？	09:50
248	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	みんな両親のない子が多いから？	09:55
249	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	片、片親のないって子が多いんじゃないの <small>カシラ</small> ね。↑	09:58

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
250	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	両親ないって子はまあ少ないんじゃないかと思う* *。	10:02
251	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	あたしなんかねえ、戦災で焼かれてさあ、ほんとに両親もね、兄弟もなんにもないわよ。↑	10:04
252	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	で、まあ結局こうゆうふうにはプラプラしているけどもねええ。	10:09
253	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	お姉さんなんかまあ相当一、何てかなあその親分一の方(ほう)でしょ? 何人ぐらいあんだの配下にいらっしやる? 「お姉さん、お姉さん」って* ってる子が何人ぐらいいるの?	10:12
254	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	みんなでもねえ。(=「でも、みんなねえ」)	10:23
255	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	* * 今立ってる人だけでも一、「お姉さん、お姉さん」って声かけて行くわねえ。↓	10:23
256	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	ここにいる女の子はみんなねええ、(私のことを)「お姉さん、お姉さん」って慕ってくれるわよ。↑	10:26
257	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	まあ一、そうゆう子は何人ぐらいいるの?	10:31
258	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(若い女性は)ここに全部(で)150人ぐらいいるんじゃないのかしら。↓	10:33
259	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	そう?	10:35
260	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	そういった一人の親分なんてのはいるの?	10:36
261	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	います。	10:40
262	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	親分がね。	10:40
263	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(この)親分てのはあたしの姉さんなのよ。↑	10:42
264	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	「姉さん」ってやっぱりほんとの姉さんじゃあ* *、おさか、盃を交わしたね、いわゆる。	10:44
265	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	あ一、盃交わしてね。うん。	10:47
266	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	やっぱりあたしたちはまあ愚連隊系と* * 人間なのよ。↓	10:49
267	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	(自分たちは)不良少女ね。↑	10:52
268	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	* * たびたびねえ、警察で一挙げるでしょ?	10:56
269	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	ええ。	10:58
270	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	でもすぐまた出てくるわねえ。	10:59
271	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	ええ。	11:00
272	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	* * 警察挙げるとどうゆうことなんの?	11:01
273	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	あの一、警察に呼ばれてねえ、住所や氏名聞かれてねええ、それで一、まあ病院へ送られるわね。↑	11:03
274	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	あ、病院* *。	11:08
275	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	病気がない人は(病院から)帰ってくる。	11:08
276	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	で、病気のある人は病院で治療してね、病気が治ればまた帰ってくる。	11:10
277	ラクチョウのお時 (19歳・女性)	藤倉修一アナ (33歳・男性)	* * 結局女の子ってまたここへ戻ってくん(=る)のよ。↓	11:13

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
278	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	戻ってきちゃうの？	11:16
279	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	だからおんなじこと(=再犯する)なのよー。↓	11:16
280	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	うーん。	11:18
281	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	で、警察の取り締まりなんてのはどのくらいやってる？	11:19
282	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	あー、一週間に一遍ぐらいあるの？	11:22
283	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そう一週間に一回ぐらいあるときもあるしね。それから一、二日(ふつか)に一遍ぐらい、* * 的にあるときもあるしね。	11:24
284	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	続けてあるときもあるの。	11:29
285	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	それ(=警察の取り締まりのタイミング)はわからないわ。↑	11:32
286	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	もともと(警察の取り締まりのタイミング)がわかっていれば女の子たちはね、結局ねえ、その日にまあだいたい、わかつちやうでしょ？ いつぐらいー。そうすればまあ(ここに)寄り付かないもんね。	11:33
287	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	あたしたちなんかはもう、(警察が来る日は)ほとんどわかるわよ。↓ “狩り(アクセントはLH)”のある日はね。	11:40
288	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラクチョウのお時(19歳・女性)	わかる* *。	11:43
289	ラクチョウのお時(19歳・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	だけど、うんー、(警察が来る日を)教えようと思うけどさあ、結局本人のためだからねえ、急いで* * 病院行ってさあ、病気になるか診た方(ほう)がいいと思うからねえ、つとめて教えないようにしてんの。	11:43
			【無音】	11:52
290	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	ちよつとねえ、お話をねえ聞かしていただきたいと思って* * *よ。	12:04
291	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	ほかでもないんですけどねえ、* * *相当一たくさんー、若い女の人が出てーいますよねえ。でー、まああなたなんかお姉さん様* * *ねえ。いったいどうゆうふうな具合になってんのかねえ。たとえば、ここへ来る人はですねえ、なんか一出動簿でもあるんですか？	12:10
292	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いえ、そうゆうのはないんですよ。	12:25
293	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	ああ。名簿なんかありますか？	12:26
294	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いえ、そうゆうもんは一、できてないです。	12:29
295	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	できてない？	12:31
296	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ。	12:31
297	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ただねえ、あー、初めて来たときにねえ、その一、まあ、「あたしはどこどこから来てねえ、はい、ここで働きたいと思うんですけどお願いします。」ったら「あ、そうですか。んじゃおか*なさい」。でそれで。	12:32
298	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	* * *を通すわけですね。	12:44
299	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	まあそうゆうもんですかねえ	12:45
300	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	そのときは別にお金なんか納めないんですか？	12:48
301	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	いえ別に納めないです。ここじゃ絶対にお金は取ってないですから。	12:50
302	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	顔を見知っていられますか？ 百何人もいて。	12:55
303	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ、だいたいわかりますね。ええ。	12:58
304	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	挨拶した人と挨拶しない人とわかりますか？	13:00

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
305	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ、わかります。	13:03
306	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	ここでどなんーその決め(=決まり)があるんですか? どうやっちゃいけない、こうやっちゃいけないってゆうようなまあいくら決めがあるように聞いとるんですけど*。	13:04
307	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ、えー、ここではですねえ、えー、女の子一は、だいたいにおいてですねえ、泥棒一するような子もいるしねえ、それから、まあいっ、うち一飛び出して来てねえ、親が迎えに来て一、帰らないってゆうような子はですねえ、こっちから、まあ制裁を加えてもですねえ、親に、渡すってゆうふうに、まあしてらるんですよ。* 泥棒した子はですねえ、こっちで制裁加えて警察へ持ってくように、そうゆうふうにしてらるんですよ。	13:11
308	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	これであの一、寒い日とかですねえ、風の日なんてのは出るときは少ないですか、やっぱり。	13:44
309	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ありますよ、やっぱり。それをやっつかなくちゃ一、食べていられないからねえ。雨が降ってもねえ、じゃんじゃん降ってもねえ、おんなじ(=同じ)ですね。おんなじ(=同じ)ですよ、ふだんと変わらないですよ。	13:48
310	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	寒いときもそうですか?	13:59
311	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ええ、寒いときでも。	14:00
312	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	これからしかし夏になると(客が)増えるような気がするんですがね。風はないだろうけども。	14:01
313	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	それなんです、心配なのはね。堅気の娘さんがですねえ、その一、面白がつてねえ、出てくるとちよつと困るんですよ。もうこうなっちゃうてる子はもうしょうがないですねえ。	14:04
314	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	* * これ以上一、数(かず)を増やしたくないと思うのはねえ。	14:15
315	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	そうなんです。	14:17
316	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	* * みんな一同じだろうと思うんですけどもねえ。	14:18
317	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	堅気の娘はですねえ、こうゆう娘さんたちをですねえ、あこがれてですねえ、なるってゆうようなことは、実際ありますかあ?	14:20
318	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ありますねえ。それは事実ねえ、ありますよ。で、そうゆうのはもう、あたしが。	14:26
319	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	それはやっぱり家庭が一悪いんじゃないかなあ。(やや独り言的に)	14:31
320	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	まあ、一旦ね、まじめん(=に)なつてもねえ、その一、なんてのですねえ、お母さんが「ああでもないこうでもない」*(家)出てくん(=る)の(=娘)が多いんですよ。	14:33
321	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	たいてい母親の不服が多いですね。	14:41
322	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	父親の不服ってゆうのはないですよ。	14:43
323	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	母親が冷たいからとかねえ、いくらまじめに家(うち)にいてもねえ、「ああでもないこうでもない」って怒(おこ)ってばっかしいるって、ちつともねえ、うち(家)にいてもねえ、まああたたかみがないからねえ* * ね、「また来ちゃったからお願いします* * *」。	14:46
324	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	* * そうゆうのはほんとにねえ、かわいそうと思いますよ。	14:58
325	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	藤倉修一アナ(33歳・男性)	自分がまじめん(=に)なろうと思って、せつかくち(家)へ帰つたのですねえ、母親が冷たい一、あれでもつてまあ、あ一、あれしたんでまあ、また* * 逆戻りして、来るようなことがね、あるんですよ。	15:01
326	藤倉修一アナ(33歳・男性)	夜の商売をしている先輩女性(20~30代・女性)	あ一一。	15:12
327	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラジオ聴取者	この有楽町の劇場前。間に妖しく咲く花は、なお繚乱(りょうらん)と咲き続けておりますが、え、ここに、二人の、姉さん株の方(かた)に、おいでを願ひまして、一人は、グリーンの方(かた)に、一人は、あ一、グレーの方(かた)に、青広の方(かた)であります、この二人の方(かた)に、え、この一、街の、天使たちの生活をいろいろと伺つて* * ます。	15:16
328	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラジオ聴取者	まことに私(わたくし)たち、このお話を聞いておまして、寒心(かんしん)に堪えないものがあると同時に、また、世の中の人々が、もう少し、こういった、女性に、深い、愛情を持たなければならないとゆうことを、きょう、この、ある劇場の前に立ちまして、つくづく感じたわけでありまして、なお、時間は、9時前でありまして、あとからあとからと人の流れ、劇場も跳(は)ね、あるいは、ちよこら(「そこら」?)の、飲食店からも、ぞくぞくと人が出ておりますが、この、人波の、中に、えー、こういった、赤、青、黄色と、色とりどりの、娘さんたちが、いろいろと、話しかけながら、自分の、職業を、続けているわけでありまして。	15:43
329	藤倉修一アナ(33歳・男性)	ラジオ聴取者	では、きょうの、夜での、街頭録音。初めて、この一、有楽町に、進出いたしました、雨の夜の街頭録音を、このへんで終わりたいと思います。	16:32

【資料2】

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の回想番組の文字化

順番	発話者	相手	発話	開始時間
1	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	戦後のすさんだ世相を反映して、この歌(番組開始直後に流れた「星の流れに」)が流行ったのが昭和22年ごろのことだそうだけれども、焼け跡から復興した東京も、闇市に浮浪児がうろついたり、夜の巷に春をひさぐ、女たちが徘徊するとうう状態で、まあ「街頭録音」もそうした、この一、当時の、世相にマイクを向けようとうう、そういう気持ちが強かったわけでごさいますねえ。	00:25
2	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	そうですね。現実には、いー、そういうものがあるんだから、それを一取り上げてみたいという気持ちを持って、やったわけですけどねえ。でも今までの形と違ってえ、これはあの一、なかなか尋常一様では、あの一、闇の女たちが、マイクに話をしてくれることはないと思いましたがねえ。でまあ、隠しマイクでやってみよう、お一、初めてあ、そうゆう、形式ですずねえ、星のうちに、いー、ガード下まで、えー、コードを伸ばしておいて、夜暗くなってから、マイクロホンをお一、レーンコートの袖口にしのばせて、えー、録音をとったわけですねえ。ええ。	00:48
3	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	しかし一、そういうまあ取材とゆうのは、これまでの放送にはなかったことをごさいますよ?	01:30
4	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	全くなかったですねえ。第一社会悪をねえ、あの一、公共の、お、お、公器である一、ラジオで放送するなんてことはねえ、もう、罪悪一にもう値することで、今までの常識からは考えられなかったんですけどねえ。まあ、やってみよう、お一、まああとで、ダメになったらそれまでじゃないかとゆう気持ちで、撮って見たんですけどねえ、これもまあ、あの一、普通だったらダメだったんですけどねえ、そのときまたまその、ラクチョウ(有楽町)のお時さんとゆう師匠が出てきてですねえ、いろいろ、お一、叫びをあげてくれたんでね、これがまあ有名になったわけですけどねえ。	01:36
5	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	そうですね。まあそれがその一、大変な反響を呼んだ、「ガード下の娘たち」とゆう番組だったわけですねえ。	02:11
6	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	そうですねえ。	02:18
7	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	あの一、東京有楽町のガード下とゆうのは当時、夜の女たちの、たまり場だったようですけども。	02:19
8	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	ええ。	02:25
9	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	マイクを意識させない、さりげなく話をさせる。このへんは一、どうなんですか?	02:26
10	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	うーん、あとでだいぶやられましたけどねえ。その、「馴れ馴れしいじゃないか。お前さんしよつちゆう遊(あす)んでんじやないか。」なんてゆわれましたけどねえ。でもまあ仕事ですからねえ。	02:33
11	加瀬次男アナ(50代・男性)	番組リスナー	昭和22年、4月14日の雨の夜、藤倉さんはじめ録音スタッフは、有楽町のガード下にマイクをしのばせたんですけども、そのときの放送の一部、聞いてみたいと思います。	02:43
12			【電車の警笛音から始まり、藤倉修一アナの冒頭の現場ナレーションが再生される(一部省略して編集)。その後、インタビューのやりとりの抜粋再生。】	02:56
13	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	で、まあ、こんなふうにあの一、女たちとそのたわいのない話をしているうちに、突然その一、舞台が変わったみたいですねえ、あ、お一、そこを縄張(なあばり)りとする、女親分の、ラクチョウのお時さんてゆう、人が出てきたわけですねえ。ええ。	04:11
14			【ラクチョウのお時さんの「何(なん)なのこの人。」から再生。(一部省略編集)】	04:28
15	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	夜の女の一、転落のいきさつなども含めて、話が、進んでおりますけれども、このあと話はどうゆうふうにつながりますか?	05:51
16	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	まああの一、青少年の不良化をどう防がかってゆうのがテーマですからねえ、何とかその、お一、そういう方向に向けたいと思って、えー、お時さんにですねえ、「あーたの力でこの一娘たち更生させられないのか」ってゆうふう質問したら、「世間の目が冷たい一からあ、いつまでたっても更生できないんだよ」と、えー、「現に私(わたし)はまあいろいろ、お一、世話やいてんだけど、みんなまた元へ戻ってきちゃうんだよ」と言ってます、あの一、まあ、当時流行ってた、あの「星の流れ(に)」を歌いながら、あの一、カードの闇の下へ、消えてってしまったんですけどねえ。いまだにそのことは、もう、劇的な、あ、場面として印象に残ってますけどねえ。	05:58
17	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	聴取者の受け止め方、反響とゆうのは、どんなもんだったでしょうか?	06:41
18	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	いろいろありましたねえ。あの一、批判もありましたけれども、まあ、マイクが、そうゆう、人たをこの、お一、正面から、う、受け止めたというの、まあ、従来の、NHKではないことだったので、え、そうゆう点では、あの一、大変な、大きな反響で、えー、あの一、お時さんに対する、あの一、同情も、出たくらいでしたけどねえ。	06:46
19	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	当然、ラクチョウのお時もですねえ、その放送は聞いていたんですよ。	07:13
20	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	あの一、一年ぐらい経ってからねえ、えー、見知らぬ女性、と思っただけですがまあ、あとで分かったんですが手紙をいただいた。それが、ラクチョウのお時さんだったんですねえ。	07:18
21	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	ああ。	07:30
22	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	で、その一、お一、お時さんが、あ一、自分でその放送を聞いたそうです。有楽町のあのマーケットですねえ。そして、ハタと、思い当たったのは、自分がこうゆう、この、お一、闇の女たちを仕切ってるような仕事をしてねえ、女の子たちに更生しろと言ったって無理なんで、自分が先立つて更生しなきゃいけないんだと、ゆう、考えを持って、あの一、突然、その、お一、堅気一になる決意をしたらいいですねえ。	07:30
23	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	こちらにありますのが、その、手紙でございますねえ。	08:00

「ラクチョウ(有楽町)のお時」の回想番組の文字化

通番	発話者	相手	発話	開始時間
24	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	非常に達筆な手紙でねえ、えー、(以下はお時さんからの手紙の朗読)「女だてらに思い上がって闇の女たちに「姉さん」って呼ばせ、「親分」と慕われていい気になっていた私(わたし)は何とゆうバカな女でしたでしょう。あの晩藤倉さんに威張ったように、ラクチョウの女を一人でも多く更生させるためには、私(わたし)自身がまず、ヤクザな生活から足を洗い、現実の社会に飛び込んでその苦しみを、味わわなければと、東京を去り、市川市のある会社に通いました。ずいぶん固い決心で堅気の生活に入りはしましたが、浮世の風は冷たく、決心もときには、崩れそうになります。そんなときふと思いつくのは、あの晩の藤倉さんの言葉です。「あなたの方で一人でも多くこの娘たちを更生させてください」。これを思い返して私(わたし)はまた心を引き締め、強くろうとしています。」	08:04
25	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	うーん、「あなたの方で一人でも多く、娘さんたちを更生させてください。」	09:06
26	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	ええ。	09:12
27	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	まあじつはね、僕らは、アナウンサーのねえ、結びの言葉としては、まあ、こうゆうことを、おー、つい、言うわけですよ。でも、あの、その、言葉を、この心の奥に受け止めてね、更生してこうして苦労してるんだってことを思っ私(わたくし)は非常に心を打たれましてね、おー、聞かせてもらったわけですねえ。	09:13
28	加瀬次男アナ(50代・男性)	藤倉修一(70代・男性)	そうですね。まあ、ほんの、ちょっとこう言い添えた一言が、その人の人生を左右するとか言いますけれども、まさにそのとおりでございますねえ。	09:33
29	藤倉修一(70代・男性)	加瀬次男アナ(50代・男性)	そうですねえ。ほんーとにあのー、何気なくー、言ったその言葉が、このー、その人の人生をねえ、変えようとゆうこともあるわけで、言葉とゆうものは大変難しいもんだな、怖いもんだな、そしてときには強いもんだなってゆうことを、まあ、今でも、つくづく感じてるわけですけどねえ。	09:43